

## 株式会社村上組

所在地	山口市三の宮 1-1-63
連絡先	TEL 083-925-5533
H P	<a href="https://murakamigumi.com/">https://murakamigumi.com/</a>
代表取締役	村上 知章



今月号では、2025年で創業110周年を迎えられた株式会社村上組の代表取締役 村上知章氏にお話を伺いました。



### ●沿革

大正 4年:初代の村上国一氏が創業  
昭和37年:有限会社村上組を設立  
昭和52年:株式会社村上組に改組  
平成27年:「TRUSS FACTORY」を開設  
令和 6年:モデルルーム併設の新オフィスを開設

### ●創業 111 年、初代から続く“より良いものづくりの DNA”

村上組は、私の曾祖父にあたる初代が創業し、2025年に110周年を迎えました。初代は、納得のいかない仕事があれば弟子が作ったものでも壊してしまうほど厳しい職人気質でしたが、大殿小学校の旧講堂や木造時代の山口赤十字病院などを手がけ、「木造なら村上組」と評される礎を築きました。現在は総合建設業として鉄筋コンクリート造や鉄骨造も広く手がけていますが、「木造に強い」という核は、現在の住宅事業における大きな力となっています。続く二代目の祖父は、戦後の復興期・成長期に多くの公共施設を完成させ、総合建設業としての形を成しました。祖父もまた、品質と美しさへの執着が人一倍強く、良い家を作ることに情熱を注いだ人でした。

そんな二人のもとには多くの弟子が集まり、当時から「大工を自社で雇用し、育てる」という方針を貫いて技術を継承してきました。今回、改めて過去の資料を紐解くと、1982年に掲載された「人物登場」という記事が見つかりました。そこで初代は、独自の計算式を考案して仕事に活かすなど非常に論理的な一面を見せる一方で、「古い考えに固執せず、新たな技術や考え方を積極的に受け入れる大切さ」を語っていました。創業時と比べ工法は様変わりしましたが、初代からつながるこの思いをDNAとして、現代の性能やデザインに落とし込んでいます。

当社の最大の強みは「人」です。「建築が好きだからこそ、より良いものを作りたい」という共通の想いのもと、設計士、現場監督、大工、インテリアコーディネーターが同じベクトルで動いています。採用時も、スキル以上に「建築への思い」を最も重視しています。そうして具現化されるものが、当社のスローガンである「高性能で美しい家」です。断熱・気密・耐震といった数値化できる「高性能」を土台とし、住む人の動線や感性を満たす「美しさ」を両立させる。このバランスこそが村上組のアイデンティティです。



自社工場で部材を加工し、自社の大工が工事に当たる

### ●祖父の後を継ぎ、三代目の道へ

私は30歳のとき、祖父の後を継いで社長に就任しました。母校である大殿小学校の木造講堂を曾祖父が建て、さらに私が通学していた時期には、祖父が鉄筋コンクリート造の新校舎を建てる姿を間近に見ていました。幼心に村上組への特別な誇りを感じ、「いつか自分も」という思いを抱いていました。

しかし、高校生の頃に親族が継ぐ予定であることを知り、一度は別の道を探そうと大学では文系を選択し、卒業後も全く異なる業界へ進みました。のちに祖父から「継いでほしい」と言われた際は正直悩みましたが、やはりこの思い入れのある会社を守りたいと、引き継ぐ決心をしました。建築の世界へ飛び込み、一から学び直す日々は試行錯誤の連続でしたが、祖父の代からの支えてくれた社員や、志を共にする新しい仲間たちが支えてくれました。未経験だった私が建築士資格を取得し、一歩ずつ進んで今の会社があるのは、周囲の方々とのご縁があったからこそだと深く感謝しています。

### ●世代交代で始めたリブランディング、独自の価値を伝える

創業100年の節目には、自社工場の一部をリノベーションし、良質な家具や道具を提案するインテリアショップ「TRUSS FACTORY」をオープンしました。ここではカールハンセン&サンの「CH24 (Yチェア)」、ルイスポールセンの照明など世界的ブラン

下の名作を取り扱っています。これらのブランドの認定ストアとなるにあたっては、弊社の歴史、経営状態、設備、そして家づくりへの哲学が厳しく審査されました。世界的なブランドからパートナーとして認められたことは、私たちが積み上げてきた価値が対外的にも評価された証として、大きな自信となりました。

また店内の大きな窓から、工場を眺めることができます。材料の多くが既製品になり、大工が無垢の木を加工する機会が減るなか、村上組はあえて自社工場を維持し、職人の技能を生かした家づくりを続けています。材木は自然のものなので、大きさが同じでもそれぞれに個性があり、長い時間をかけて出てくる癖の見極めが住宅の性能を左右します。そこに、自社工場で部材を加工し、自社の大工が工事にあたることの本質的な意味があります。



リノベーションの際に残した  
工場の大きな庇を支える三角形のトラス梁

二代目の頃はあえて見せていなかった「職人が自社で加工する」という、今や稀少となった価値を正しく伝えたい。そのために取り組んだのが、この「開かれた工場」へのリブランディングでした。「TRUSS FACTORY」という名は、工場の庇を支える古い「トラス梁」<sup>ひまし</sup>に由来します。三角形が連なり強さを生み出す構造に、伝統と革新、そして人と人が強くつながるイメージを重ねました。



新オフィスの1階スペース

採用した結果、スタッフの生産性は飛躍的に向上しました。面積は旧オフィスの3倍になりましたが、高气密・高断熱化によって光熱費は半分になり、エネルギーコストを75%以上削減することができました。

お客様にとっては、ここが「リアルな体験の場」となります。実際にお届けする住宅と同じ構造・工法で建てているため、その快適性を体感し、納得していただいた上で家づくりをスタートできる「再現性」があります。「TRUSS FACTORY」と隣接させたことで家具のコーディネートも伝えやすくなり、より質の高い提案が可能になりました。



元の工場を活かしてつくられたインテリアショップ



トラスファクトリー2階

また、ショップを併設したのは、暮らしの最後に手に触れる家具までトータルでプロデュースしたいと考えたからです。建物のサイズ感にフィットし、空間を引き立てる家具を一貫して提案できる体制を整えました。併せてロゴも刷新しました。製材された木材を立てかけて乾燥させている様子が、村上組のイニシャルである「M」に見えたことから着想を得たデザインです。山口の山並みや、家の屋根も連想させる形になっています。

さらに2024年には、モデルルーム併設の新オフィスを開設しました。目的の一つは、スタッフの働く環境を整えることです。以前の鉄筋コンクリート造の事務所は、夏は暑く冬は寒いという過酷な環境でした。お客様に提供するものと同じ「高性能な空間」を自社オフィ



新オフィスの2階スペース。  
リビング・キッチンのおもな雰囲気を体感しながら打ち合わせができる

## ●時代に合わせ、働く場所の「快適化」にも貢献を

一棟一棟と深く向き合う姿勢を大切にしながら、より質を高めて飛躍していきたいと考えています。新オフィスで実現したように、高性能な建物によって温度・湿度を安定させることは、スタッフの疲労を軽減し、業務効率を高める「費用対効果の高い投資」です。最近では、このノウハウを活かして「働く場所を快適にしたい」というご相談をいただく機会も増えてきました。今後はこうした需要にも応え、住まいに限らず、地域で働く環境をより良くするお手伝いもしていきたいと考えています。

消費エネルギーを抑え、一年中快適に過ごせる良質な建物のストックを山口に増やしていくこと。それを通じて、この街での暮らしがより豊かなものになるよう貢献してまいります。